

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	梶原 佳子	作成日	2026/5/1
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
発達心理学	専門教育科目（人間生活）	2	
教育心理学	資格課程科目	3	
カウンセリング論Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	3	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	4	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
青年心理学	専門教育科目（人間生活）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
カウンセリング論Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	3	
教育相談の基礎	資格課程科目	2	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

大学での学びは、積極性、自主性、自立性が高校までの学びに増して重要になります。授業では知識を習得し、活用すること、知的好奇心を発動して問題意識を持つことなどを目的としています。

心理学系の授業を主に担当することから、学生が自己理解を深め、適応的な対人交流を行っていきえるようになることを目的の一つとして、アクティブラーニング実践を取り入れ、グループワークやロールプレイ、シェアリングなどを行っています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、1，2年生の科目では、DPI-I「知識・理解」など基本的な学修の段階を経て、4年生の卒業研究でDP4-I「統合的な学習経験と創造的思考力」を用いた新たな社会の課題を発見し解決するための考察力、問題解決力を発揮できるよう支援と指導に努めています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	渋谷 光美	作成日	2026/5/11
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
社会学	基盤教育科目	1	
西洋装飾文化	専門教育科目（人間生活）	2	
介護概論	専門教育科目（人間生活）	2	
福祉住環境	専門教育科目（人間生活）	2	
子どもと社会	専門教育科目（人間生活）	2	
共生社会と福祉	専門教育科目（人間生活）	2	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	4	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
コミュニケーション論	専門教育科目（人間生活）	1	
生活と環境	専門教育科目（人間生活）	2	
子どもと健康	専門教育科目（人間生活）	2	
家族関係学	専門教育科目（人間生活）	2	
生活学専門演習	専門教育科目（人間生活）	3	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	4	
ライフコース論	専門教育科目（人間生活）	2	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

大学での学びとして、日常生活において当たり前（自明なこととして）用いている言葉やさまざまな事柄などについて、少し立ち止まって考えてみよう、改めて捉え返し、問い直してみようという姿勢を大切にしていこうと、学生さんに働きかけています。学生さん自身の気づきや発想を表出してもらう機会を増やし、人間生活学科のディプロマ・ポリシーである、DPI 知識の修得・理解を通じた、DP 2 の汎用的能力の向上につなげたいと思います。

講義では、国際的な視野を含め、生活上の困難を抱える人々などの存在を知り、思いを馳せることを通じて、社会的課題に対して身近な問題として引き寄せて考究できる DP 3 の態度・志向性を育みつつ、主体的に考える思考過程を言語化して発表できる DP 4 の創造的思考力を身につけた人材育成に注力しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	梨木 昭平	作成日	2026/5/7
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
教育方法論	資格課程科目	3	
キャリアサポート演習(教職教養)	基盤教育科目	3	
教育実習Ⅰ	資格課程科目	4	
教職入門	資格課程科目	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
道徳教育の理論と方法	資格課程科目	2	

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	資格課程科目	2	
教育課程論	資格課程科目	2	
教職実践演習	資格課程科目	4	
教育制度論	資格課程科目	2	
教育実習Ⅱ	資格課程科目	4	
こども教育演習	専門教育科目(人間生活)	1	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

教員としての実践力育成に重点を置いているため、学生による発表の場を多く設けている。

1年「教職 入門」では、教員志望理由や学校教員について考えたことをスピーチする。

2年「教育課程論」では、母校の教育課程や、自分自身の教科の学習指導計画について、受講者への問いかけを含めながら説明をする。「特別活動指導法」では、「特別活動」（学校行事や学級活動等）をテーマにして模擬授業を実施する。

さらに、3年「教育方法論」では、自分の教科で(学習指導案を踏まえた)本格的な模擬授業を実施し、この頃に学生は教育実習の内諾訪問をする。その後、「教育実習指導」を経て、「教育実習」本番を迎える。同時に、3～4年「キャリアサポート演習」では、教員採用試験対策のための過去問や面接対策に取り組み、採用試験合格への支援もしている。

4年「教職実践演習」では、実際に学校現場で直面する「保護者対応」や「生徒指導力」育成をテーマに、学校現場を想定した演習を実施し、教職生活の円滑なスタートをサポートする。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	光松 佐和子	作成日	2026/5/7
----	--------	----	--------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
衣生活論	専門教育科目（人間生活）	1-4	
カラーコーディネート論	専門教育科目（人間生活）	1-4	第1Q
アパレル実習Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	1-4	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
ライフマネジメント論	専門教育科目（人間生活）	1	
アパレル素材論	専門教育科目（人間生活）	3	
生活デザイン実習Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	2	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

大学での授業は高校までとは異なり、自主的な学習が求められるため、文章を読み、人の話をよく聞いて理解し、整理して、自分の意見を述べることの大切さを伝えています。さまざまな意見を持つ人とかかわりの中で新しい考えに触れ、自身を振り返り、新たな道を切り拓く一歩を踏み出せるような授業を行いたいと考えています。

人間生活学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、DPI-1 人間生活における諸課題に関する基礎的な知識を修得することを目指し、DPI-2 ファッション分野における専門知識の習得を目指しています。また、現代社会が抱えている問題に関わるトピックを数多く取り扱い、調査・発表・ディスカッションを重ねることで、DP4-1 新たな社会の課題を発見し解決するための考察力、問題解決力の育成に力を入れています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	宮崎 陽子	作成日	2026/5/22
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第I Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
生活学概論	専門教育科目（人間生活）	I	
住居学概論（製図を含む）	専門教育科目（人間生活）	I	
住生活演習	専門教育科目（人間生活）	3	
インテリア設計実習	専門教育科目（人間生活）	3	
卒業研究 I	専門教育科目（人間生活）	4	
家庭科教育法 I	資格課程科目	2	
	基盤教育科目		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
卒業研究 II	専門教育科目（人間生活）	4	
家庭科教育法 II	資格課程科目	2	
家庭科教育法 IV	資格課程科目	3	
ライフマネジメント実習	専門教育科目（人間生活）	2	
生活学専門演習	専門教育科目（人間生活）	3	
教育実習指導（中・高）	資格課程科目	4	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
SDGs 総論 I	副専攻科目	I	
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

大学では、学生が主体的に取り組み、自ら課題を発見し、調べ、考え、仲間と議論して、自分の考えを整理し表現する学びが求められます。特に人間生活学科では、家政学の視点からの問題意識に基づく真理の探究や創造性を育む力の獲得が大切だと考えています。

しかし、これまでの学習や経験が体系的に積み重ねられておらず、学ぶ楽しさを実感していない学生も少なくありません。

授業では、小・中・高校の学習内容を想起できるような話題や身近な問題をテーマに掲げ、自分、家庭、地域、社会へと問題意識を広げられるよう心がけています。また、内容理解の定着と自己評価を目的とした振り返りの場や、学生同士が多様な意見を交換し、自分の意見を客観視できる場も積極的に取り入れています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DP1-1で基礎的な知識を、DP1-2で専門基礎知識・技能を相互に関連づけた概念で説明ができ、DP4-1で社会の課題を自ら発見、分析、原因を究明し、論理的に整合し、解決に向けた提案を行い実行するという段階的で継続的な学習に導けるよう心掛けています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	市田 哲朗	作成日	2026/05/01
----	--------	----	-------	-----	------------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
製菓理論Ⅰ	専門教育科目（人間生活学科）	1	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
製菓衛生師特別演習Ⅱ	専門教育科目（人間生活学科）	3	第1Q
洋菓子基礎実習Ⅰ	専門教育科目（人間生活学科）	1	第1Q
洋菓子基礎実習Ⅱ	専門教育科目（人間生活学科）	1	第2Q
食クリエイト専門演習Ⅲ	専門教育科目（人間生活学科）	4	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（人間生活学科）	4	
	専門教育科目（人間生活学科）		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
製菓理論Ⅱ	専門教育科目（人間生活学科）	1	
製菓衛生師特別演習Ⅰ	専門教育科目（人間生活学科）	2	
製菓専門実習	専門教育科目（人間生活学科）	2	
食クリエイト専門演習Ⅱ	専門教育科目（人間生活学科）	3	
卒業研究Ⅱ	アイテムを選択してください。	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

わからない時に聞くのも大切ですが、聞く前に考えるという習慣をつけてほしいと思っています。学力を上げる事だけではなく、「学び方を学ぶ」という事を大切に指導しています。最近では、教えてもらう事に依存する学生も多く、自ら課題を発見し解決する力が乏しくなっているように感じられるからです。どんな事からも学びがあり、それらを繋げていく事で問題解決や新たな視点が生まれるという事を体感してほしい、様々な切り口の授業を行っています。

学生には卒業後に大学時代の習慣が役にたっていると思ってもらえるよう、多少厳しくなったとしても、当たり前にするべき事については指導をしています。

全学ディプロマポリシー 4

「総合的な学修体験と創造的思考力」が特に重要となりますので、伝える内容が古くならないよう授業も毎年アップデートし、学生が常に最新の情報を得られるよう工夫しております。また、学生が将来的に学んだ事を時代に合わせて変化させることが出来るように、結論には余白を残すようにしています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	新井 寛規	作成日	2026/5/2
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
こども教育論	専門教育科目（人間生活）	1	
こども教育演習 B	専門教育科目（人間生活）	2	
こども教育演習 D	専門教育科目（人間生活）	3	
児童福祉論	専門教育科目（人間生活）	2	
卒業研究 I	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
卒業研究 II	専門教育科目（人間生活）	4	
生活学専門演習	専門教育科目（人間生活）	4	
教育原理	資格課程科目	2	
保育学	専門教育科目（人間生活）	2	
生徒指導論	資格課程科目	3	
進路指導論	資格課程科目	3	
現代子育て論	専門教育科目（人間生活）	3	
こども教育演習 C	専門教育科目（人間生活）	2	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

今、目の前にいる学生たちの中には、これまでの学校生活で「自分ができる」という成功体験を十分に持てず、学ぶこと自体に自信をなくしている子が少なくありません。

私は授業を通じて、まずは「大学は、君たちの『好き』や『おもしろい』を深めていい場所なんだ」ということを伝えていきたいと考えます。社会の中で自分がどんな役割を果たせるのか、仲間と学び合う中でどんな喜びが生まれるのか。そんな「学ぶことの根源的な楽しさ」を、理屈ではなく肌で実感してもらえそうな場づくりを大切にしています。

特に専門科目では、ただ知識を詰め込むのではなく、自分たちで「調べ、考え、まとめ、発表し、そして自らを振り返る」という一連のプロセスを繰り返すことで、一生モノの学習スタイルを身につけてほしいと願っています。

一方で、大学は社会に出る直前の大切な準備期間でもあります。時間を守ること、期限内にアウトプットを出すこと。これらは単なるマナーではなく、社会で生きていくための「自分を守る力」でもあります。だからこそ、こうした基本については、愛情を持って厳しく指導することを徹底しています。

本学のポリシーに基づき、語学では確かなリテラシーを、その他の科目では「自分で目標を立て、粘り強く歩みを進める力（DP3-2：学修習慣）」を育むことに全力を注ぎます。学生たちが自立した学習者として、そして豊かな人間として羽ばたいていけるよう、一人ひとりの歩みに伴走していきたいと考えています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	湊 敏文	作成日	2026/5/19
----	--------	----	------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
食クリエイト専門演習Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	3	
食品評価論	専門教育科目（人間生活）	4	
食生活論	専門教育科目（人間生活）	2	
卒業研究	専門教育科目（人間生活）	4	
フードスペシャリスト論	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
調理学	専門教育科目（人間生活）	3	
国際食文化論	専門教育科目（人間生活）	2	
食クリエイト演習Ⅳ	専門教育科目（人間生活）	4	
カフェ演習Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	4	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

これまで国内外で培ってきた経験を基盤に、「食を通じて人と社会をつなぐ学び」を中心に、羽衣国際大学の建学の精神である「愛真教育」を基盤とした自由・自主・自律・個性尊重の人間教育に貢献したいと考えています。食文化や調理技術の理解は生活を支える基盤であり、衣食住・教育を重視する本学の理念とも深く結びついています。

現在の学生は多様な背景を持つため、まずは自身の経験や興味を学びにつなげられる環境づくりを重視しています。食という身近なテーマを起点に、文化・歴史・社会構造へと視野を広げる学びを設計し、観察・分析・試作・検証といった実践的プロセスを通して主体的な学びを促します。

また、産学連携による商品開発や異文化理解の学びを通して、自己効力感や協働的態度、多文化共生の視点を育成します。これらの取り組みは、羽衣国際大学のディプロマ・ポリシー（DPI～DP3）が掲げる教養・専門性・主体的学修の育成と強く結びついています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	人間生活学科	氏名	山本 幸恵	作成日	2026/5/14
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
食品学Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	1	
栄養学Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	2	
製菓衛生師特別演習Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	3	
調理実習基礎	専門教育科目（人間生活）	2	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
食品学Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	1	
栄養学Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	2	
製菓衛生師特別演習Ⅰ	専門教育科目（人間生活）	2	
栄養と健康	専門教育科目（人間生活）	1	
調理実習応用	専門教育科目（人間生活）	2	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（人間生活）	4	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

学生が自己肯定感を高め、自信を持って社会へと踏み出せるように、単なる知識の習得にとどまらず、一人ひとりが物事を前向きに捉え、自らの意思で一步を踏み出せるような人間的成長を促すことを心がけています。

人間生活学科のディプロマポリシーでは、DP1-1 人間生活における諸問題について理解し、それに基づいた自己管理ができるようになること、DP1-2 専門的な知識を深め、国家資格である「製菓衛生師」の資格を取得することを目指しています。また DP3-1 グループでの実習を通じて、個人の力だけではなく、チームを尊重し協力し合う姿勢を育むよう工夫しています。

日々の授業や実習を通じて、社会で信頼される人間となるために、実践的な人間力とリーダーシップを磨くこと、主体性と協調性の両立を大切にしています。

【添付資料】